



多様な性を考える映画祭

2025.7.5 (土)
13:00~

12:30 開場 16:40 終了予定
アウガ5Fカダール
AV多機能ホール
青森市新町1-3-7(JR青森駅前)

前売券

1日通し券 **¥2,500**

上映される3つのプログラム全てをご覧いただけます。

1プログラム券 **¥1,100**

上映される3つのプログラムの中からひとつお選びいただくチケットです。

当日券

1日通し券 ¥3,000

1プログラム券 ¥1,300

※学割チケット(通し券のみ) ¥2,000

チケットは全席自由席です。当日券は映画祭会場受付にて残席に応じて販売いたします。

※学割チケットは開催日当日に販売いたします。受付にて学生証をご提示ください。チケットのご予約は下記お問い合わせ先またはウェブサイトからお申し込みください。(学割チケットの前売りはいたしませんので、ご注意ください。)

前売券をご希望の方へ

チケット販売は、当日会場受付のみで行います。前売券をご希望の方はウェブサイトお問い合わせから予約をお願いします。

お問い合わせ

青森インターナショナルLGBT
フィルムフェスティバル実行委員会

✉ info@aomori-lgbtff.org

※会場内、会場付近での写真撮影は固くお断りいたします。

※上映中の入場はできませんので、予め開演時間等をご確認ください。(上映が始まると会場内が暗くなり、足元が危険です)

※会場内での飲食はできませんので、ご了承ください。

※再入場の際はチケットの半券を係員へご提示ください。

主催/青森インターナショナルLGBT
フィルムフェスティバル実行委員会
協力/LGBTサークル スクランプルエッグ
特定非営利活動法人 あおもりラジオくらぶ
デザイン/エイチピースタイルング

The Eighteenth Aomori International LGBT Film Festival

第18回青森インターナショナルLGBTフィルムフェスティバル

『カミングアウトジャーニー』

青森県内初上映



40代になった舞台演出家・福正大輔がカミングアウトの旅に出る。中野から川崎、そして生まれ故郷の広島へ。仕事仲間に、学校の恩師に、同級生に、職場の上司に語りかける。本当の自分は何者なのか。どうして知ってほしいのか。セクシュアリティの秘密、薬物、アルコール、セックスの依存症…そして HIV の感染までを赤裸々に曝け出す。

旅の最後に待ち受けるのは、母親。カミングアウトを経て、福正は何を得たのか…。

- 監督: 山後勝英 / Katsuhide Yamago
- 製作国: 日本 ■製作年: 2022年 ■上映時間: 52分 ■言語: 日本語 (英語字幕あり)
- 英題: The Journey For Coming Out
- 受賞歴: 2024年サウスフィルムアンドアーツアカデミーフェスティバルLGBT長編映画賞
2024年ロシヤニ国際映画祭ドキュメンタリー映画賞など、世界6つの映画祭にて受賞

日本短編作品集

『セレブ寿司』



寿司を握ることで愛の告白をしようとした、男の物語。2008年に当映画祭で上映された作品です。「また観たい!」という多くの方々の声により、再上映となりました!

- 監督: 小林でび / Devi Kobayashi
- 製作国: 日本 ■製作年: 2005年 ■上映時間: 17分 ■言語: 日本語
- 英題: More Celebrity Sushi

『鏡をのぞけば〜押された背中〜』

青森県内初上映



とあるカフェの一角、ともねは古い業を営んでいた。古いとは名ばかりで、実態は客の愚痴のはけ口だった。ある日、友人の紹介でやってきた中年の男性客の古いをすることに。古いの最中、男性客は自分がトランスジェンダー女性であると、ともねに打ち明ける。ともねは、そんな彼女にアドバイスを送ろうとするが、...

- 監督: 河上リサ / Lisa Kawakami
- 製作国: 日本 ■製作年: 2023年 ■上映時間: 34分 ■言語: 日本語 (日本語字幕あり)

『出櫃(カミングアウト) - 中国LGBTの叫び』

青森県内初上映



©テムジン

中国・江蘇省で教員資格の認定試験を控える谷超(グーチャオ)は、父親に「自分はゲイだ」と告白しようとして一大決心をする。一方、上海に暮らす安安(アンアン)は19歳の時に母親にカミングアウトしたが、受け入れられないまま32歳に。今はパートナーの丹丹(ダンダン)と暮らしている。性的マイノリティを支援するボランティアの助けを得て、改めて母親と話し合い、受け入れてもらおうとするのだったが…。

かつて同性愛が“犯罪”と見なされ、古い社会通念が根強く残る中国。激しく葛藤し、壁を乗り越えようと模索する親子のスリリングな関係が展開する。

- 監督: 房満満 / ポウ・マンマン / Fang Manman
- 製作国: 日本 ■製作年: 2019年 ■上映時間: 54分 ■言語: 中国語 (日本語字幕あり)
- 受賞歴: 2019年東京ドキュメンタリー映画祭短編部門グランプリ

展示イベントを同時開催します!

日時: 2025.7.5 (土) 12:30~16:00
会場: アウガ5Fカダール AV多機能ホール前
※どなたでも無料でご覧いただけます。

青森県内で活動するLGBTサークル、スクランブルエッグとのコラボレーション企画として、本映画祭会場前にて展示イベントを開催します。是非ご覧ください。



The Eighteenth Aomori International LGBT Film Festival

プログラム内容

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| ① カミングアウトジャーニー (52分) | 13:00~13:55 |
| ② 日本短編作品集 (51分) | 14:20~15:15 |
| ③ 出櫃 (カミングアウト) - 中国 LGBT の叫び (54分) | 15:40~16:40 |

『カミングアウトジャーニー』 監督 山後勝英さんよりメッセージをいただきました



ある日、福正より「僕のカミングアウトを撮ってほしい」と言われました。なにバカなことを言ってんだと思いましたが、HIVを聞いて、これはやらなければいけないと考え直しました。ただし、福正には「(撮影)止めたくなったらいつでも止めるからね」と伝えました。当事者として、カミングアウトの恐怖は誰よりも理解できます。だからこそ、この映画が福正の人生をダメにするものであってはならないのです。カメラが回っていたから、表現者としての本能から福正は恐怖を乗り越えたのでしょうし、「人としてきちんとしたい」という想いがあったからこそ、この映画は誕生したのだと思います。

『カミングアウトジャーニー』 出演者 福正大輔さんよりメッセージをいただきました



映画を作ってからさまざまな場所で上映してもらいました。ときに「デリカシーがない」「福正が特別なだけで普通の人はカミングアウトなんかできない」との反応もありました。そのような場合もあるでしょう。

しかし、多くの人に「カミングアウトされる時の心構えができた」「大事な人のカミングアウトを待ちたい」「今は言えないけど言える時が来たらいいな」との反応ももらいました。このような場合もあります。

カミングアウトという場面は、本来は他者がみるものではありません。しかし、この映画は奇跡のようにリアルな反応を残すことができました。そのような意味において評価されるのでしょう。カミングアウトという言葉が死語になることを願います。どうぞ最後までお楽しみください、U=Uのメッセージが届きますように。

『セレブ寿司』 監督 小林でびさんよりメッセージをいただきました



青森の皆さんおひさしぶり!小林でびです。2008年に青森で上映していただいた監督・出演作「セレブ寿司」を再上映していただける事、心から嬉しく思います。この17年で世界はいろいろ変わりましたが、この短編映画に映ったボク自身は本質的にはいまと何も変わって感じられなく、ビックリするやら呆れるやらw。

そんな「セレブ寿司」を楽しんで観ていただけたら幸いです。映画祭って素敵☆

『鏡をのぞけば〜押された背中〜』 監督 河上りささんよりメッセージをいただきました



“ふたりのトランスジェンダー女性が作成するショートムービー”として、このプロジェクトが始動したのは、2022年の6月でした。はじめは冊子「トランスジェンダーのリアル」の制作メンバー内での打ち合わせの中で、トランスジェンダー当事者のリアルな姿を、映画のような形にできないだろうかという話が出たことでした。

まだまだ言葉や情報やモデルなどの資源がLGBTQ+当事者たちや当事者ではない人たちにとって少ない今だからこそ、トランスジェンダー当事者がトランスジェンダー当事者をモデルにした動画という媒体での言葉や情報やモデルとしての資源を作り出していく事には、大変意味のある事だと考えています。

LGBTQ+当事者やその周りにいる人たちのつながりのきっかけや橋渡し役となれることを願っています。

『出櫃 (カミングアウト) - 中国 LGBT の叫び』 監督 房満満さんよりメッセージをいただきました



ご覧いただきありがとうございます。この作品は中国の性的マイノリティの若者たちが親にカミングアウトする一部始終に密着したドキュメンタリーです。「社会から認められなくても、せめて親には受け入れてほしい」と願う子と、「性的マイノリティとして中国社会で生きるのが大変だから異性愛であってほしい」と拒絶してしまう親。それでも諦めずに一歩ずつ歩み寄ろうとする親子の姿を映し出しています。

タイトルの「出櫃」は、クローゼットなど真暗で閉じた空間から出ていくという意味で、中国語でカミングアウトを指します。性的マイノリティへの偏見が日本以上に根深い中国社会で「出櫃」するのは極めて難しく、それでも光を求めてカミングアウトを決意した主人公の姿から私自身も勇気づけられました。ぜひ、エールを送っていただけたら幸いです。